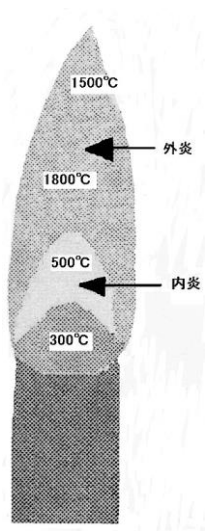


ガスバーナー

- (1) 使用する際、近くに引火性のものがない、強い風の当たらない場所で行う。
- (2) 点火前に、ガスと空気の調節ねじが回ることを確認する。
- (3) ガスの元栓を開け、マッチの火をつけてからガス調節ねじをあける。マッチは横から近づけ、点火する。点火後は赤燈色（不完全燃焼）の炎が上がる。マッチの燃えがらなどが燃焼筒内に入らないよう注意する。
- (4) バーナーを上から除かないように注意してガス調節ねじを回してガス量を調節する。
- (5) ガス調節ねじを手で押さえたまま、空気調節ねじを回して空気量を調節し、内炎と外炎が安定した炎になるようにする。
- (6) 消火の際は、点火と逆の操作をする。調節ねじを締めすぎないように注意する。長時間使用した後はガスバーナーや三脚が高温になっているのでやけどに注意する。このようなときは、元栓を先に閉めて消火してもよい。
- (7) 空気調節の際に、急に炎が大きくなることがある。また、空気を入れすぎると、燃焼管内に火が引き込まれて消えることがあるが、あわてずに元栓を閉める。
- (8) 長時間加熱する際は耐熱板を敷き、実験台等の過熱を避ける。
- (9) 断続的に使用する場合は、空気調節ねじを締め、ガス量を小さくして赤い炎にしておく。
- (10) ゴム管のひび割れやねじれがないかを確認する。
- (11) 都市ガス用とプロパンガス用があるので、使用するガスにあったものを使う。
- (12) ガスには特有のにおいがつけてあるので、ガス漏れがあったときは、火気の使用をやめ、電気のスイッチも使わないこと。ガス漏れの箇所を確かめるには、石けん水を塗って、ゴム管の裂け目がないか、継ぎ目からの漏れがないかを確認する。
- (13) プロパンガスは空気より重く、都市ガスは空気より軽いので、換気の際に配慮する。



内炎と外炎



ガスバーナーの構造

ガスバーナーの操作 [\(動画\)](#)